

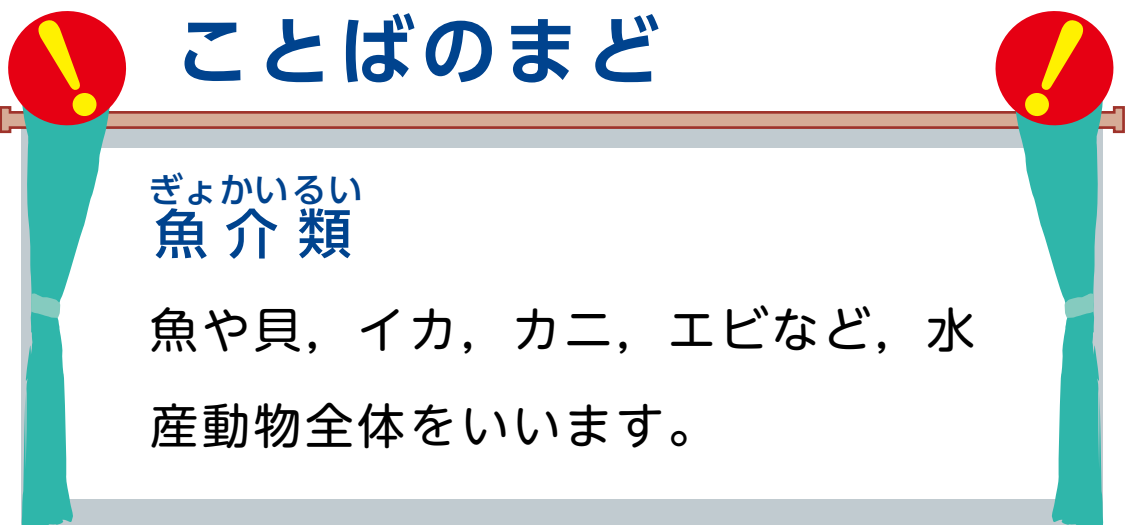
## 日本人の食事と魚の輸入

? 日本人がたくさん食べている魚は、どこからきたのでしょうか。

日本人は、世界の中でも水産物をたくさん食べる国民です。約50年ほど前から肉の消費量が増えたとはいえ、魚の消費量がとくに減ったということもありません。多くの日本人にとって、魚や貝などの水産物のない食生活は考えられないといえます。しかし、国内での水あげ量はここ数年で少し増

えています。いっぽう，輸入量は減ってきています。

現在，日本は水産物の輸入量が世界で最も多く，世界全体の5分の1ほどをしめています。日本が輸入している水産物は，エビ・マグロ・サケ・カニなどのぎよかいるい魚介類がおもなものです。

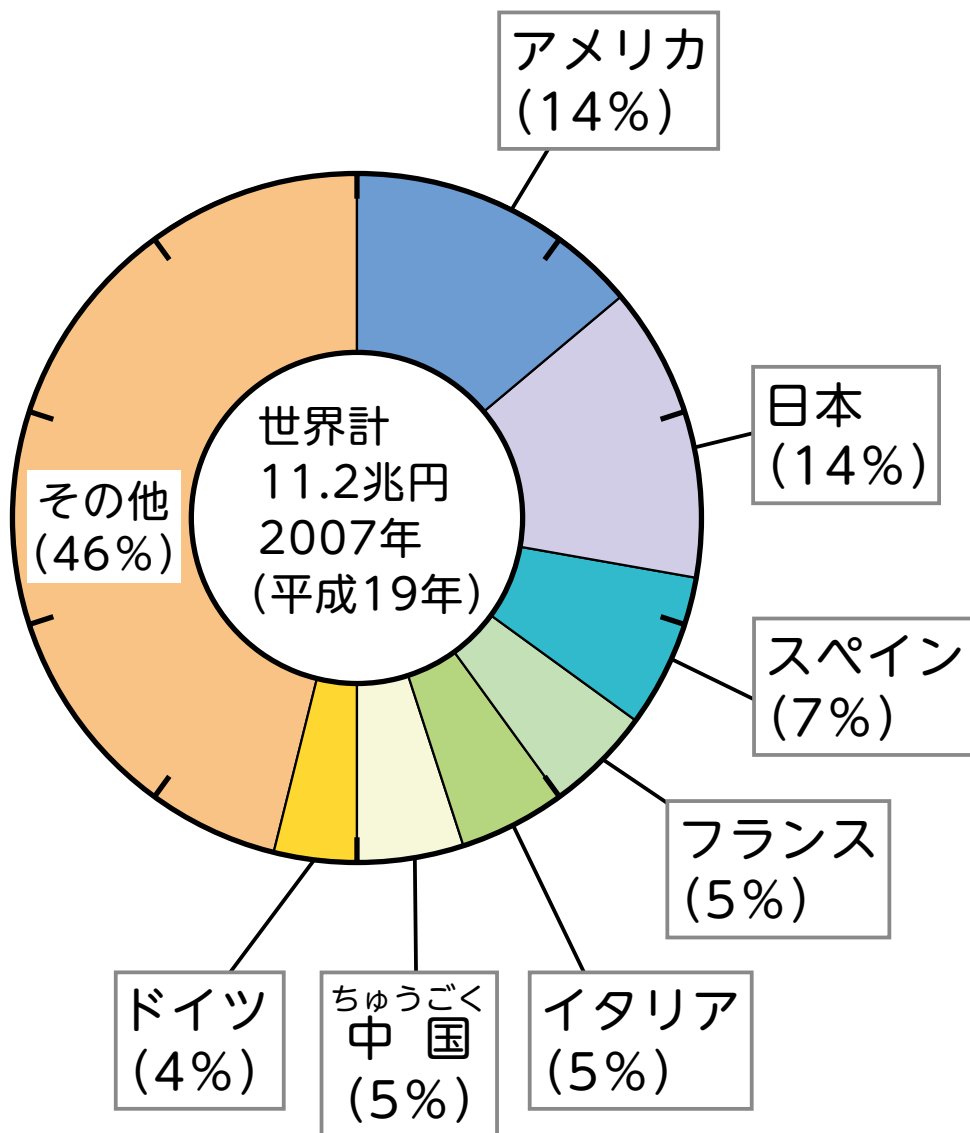


## ことばのまど

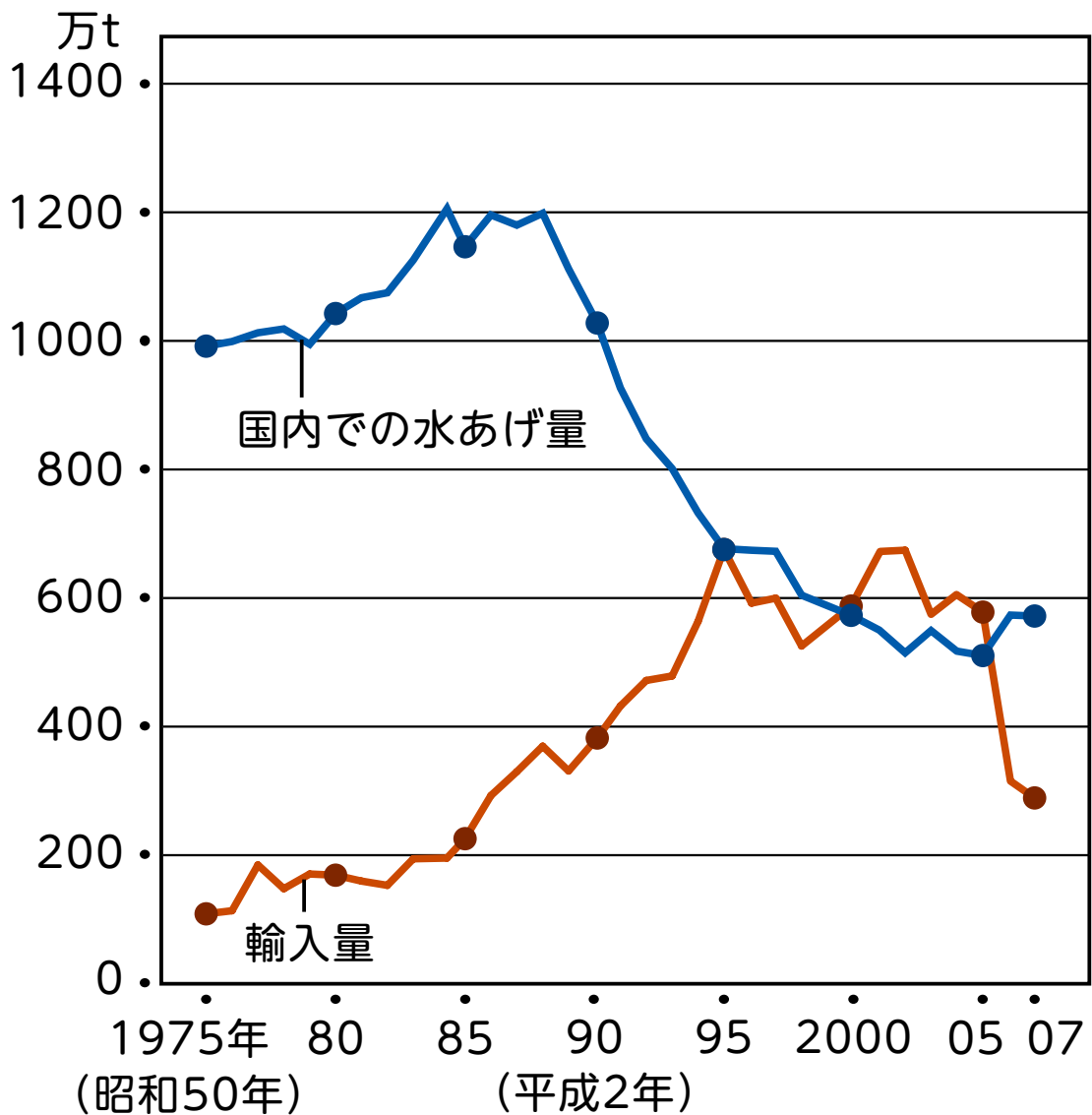
ぎよかいるい  
魚介類

魚や貝，イカ，カニ，エビなど，水産動物全体をいいます。

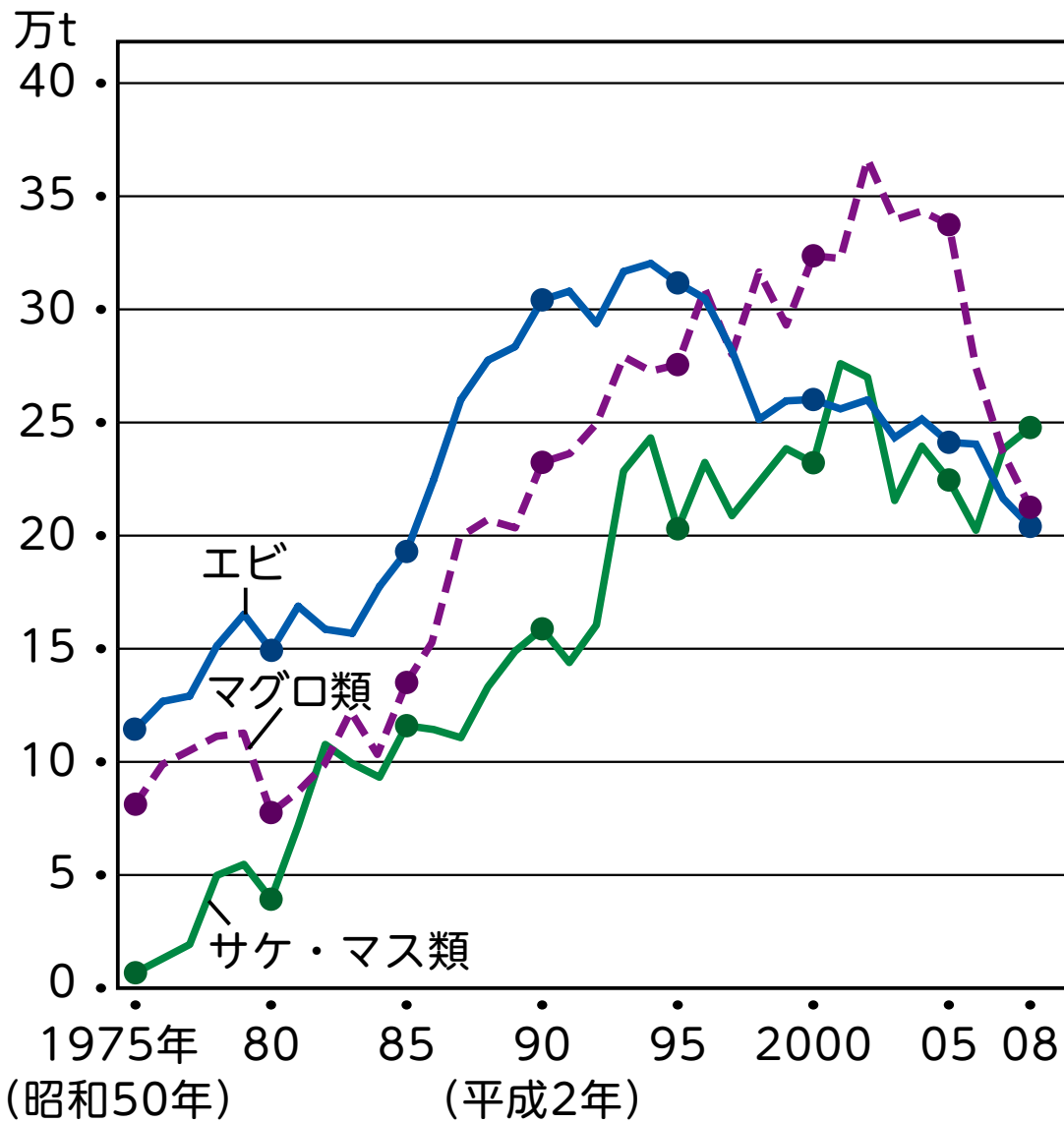
↓ 世界の水産物輸<sup>ゆにゆう</sup>入<sup>にゆう</sup>にしめる日本  
(「世界<sup>こくせい</sup>国<sup>ぜい</sup>勢<sup>ずえ</sup>図<sup>え</sup>会」より)



↓ 水産物の国内の水あげ量と輸入量の移り変わり  
 (農林水産省資料より)



↓ 魚種別の輸入量の移り変わり  
ゆにゆうりょう うつ か  
しりょう  
 (農林水産省資料より)



34 - 5

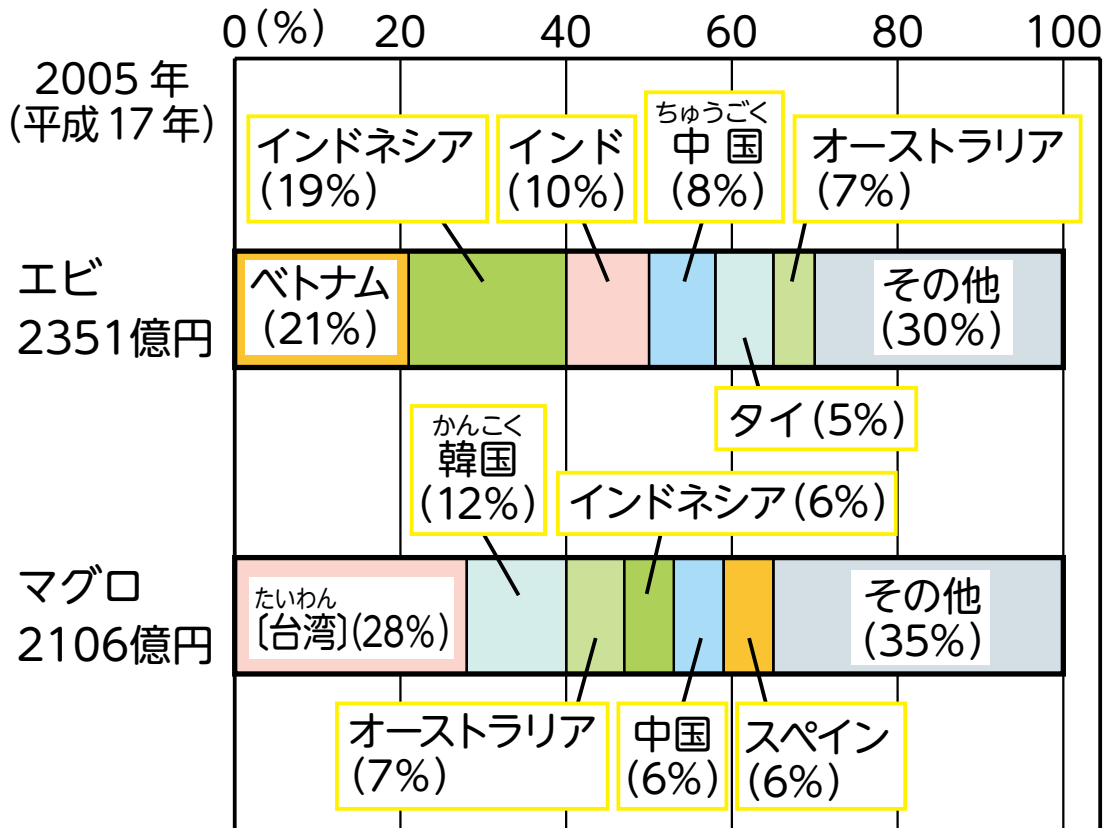
あけみさんたちは、これらの輸入先  
や国内でとれる水産物の量を<sup>くら</sup>比べて  
みました。

水産物の消費量の多い日本ですが、  
その多くを輸入にたよっている現実が  
あります。いろいろな国から輸入され  
ていること、輸入にたよる<sup>わりあい</sup>割合の大  
きい魚があることがわかったのです。  
たいせつな食料の一つである水産物を、  
こんなにも輸入にたよっていいの  
でしょうか。

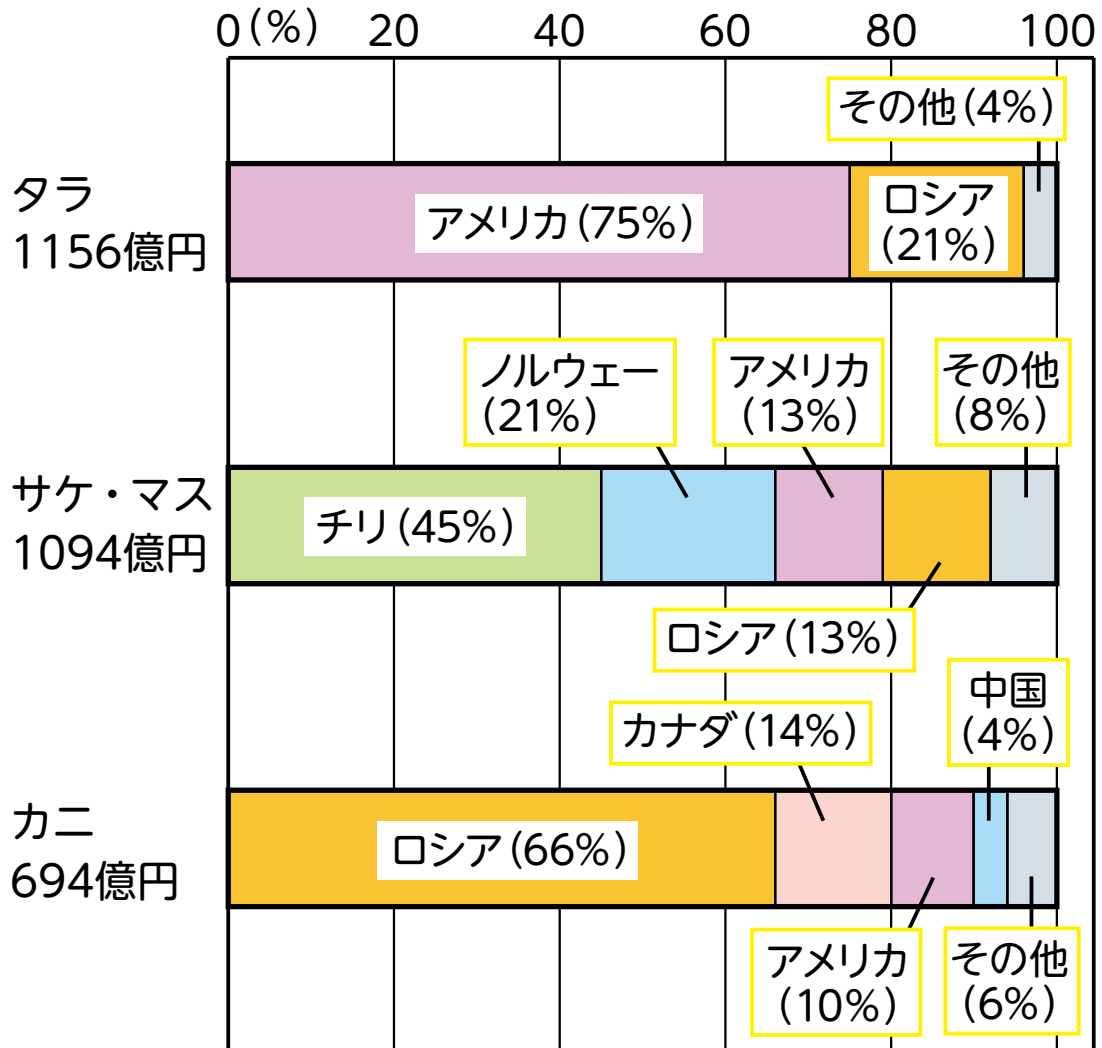
つぎに、あけみさんたちは、日本の  
国内では、どのようにして水産物を

かくほ  
確保し，水産業を行っているのかを  
調べてみることにしました。

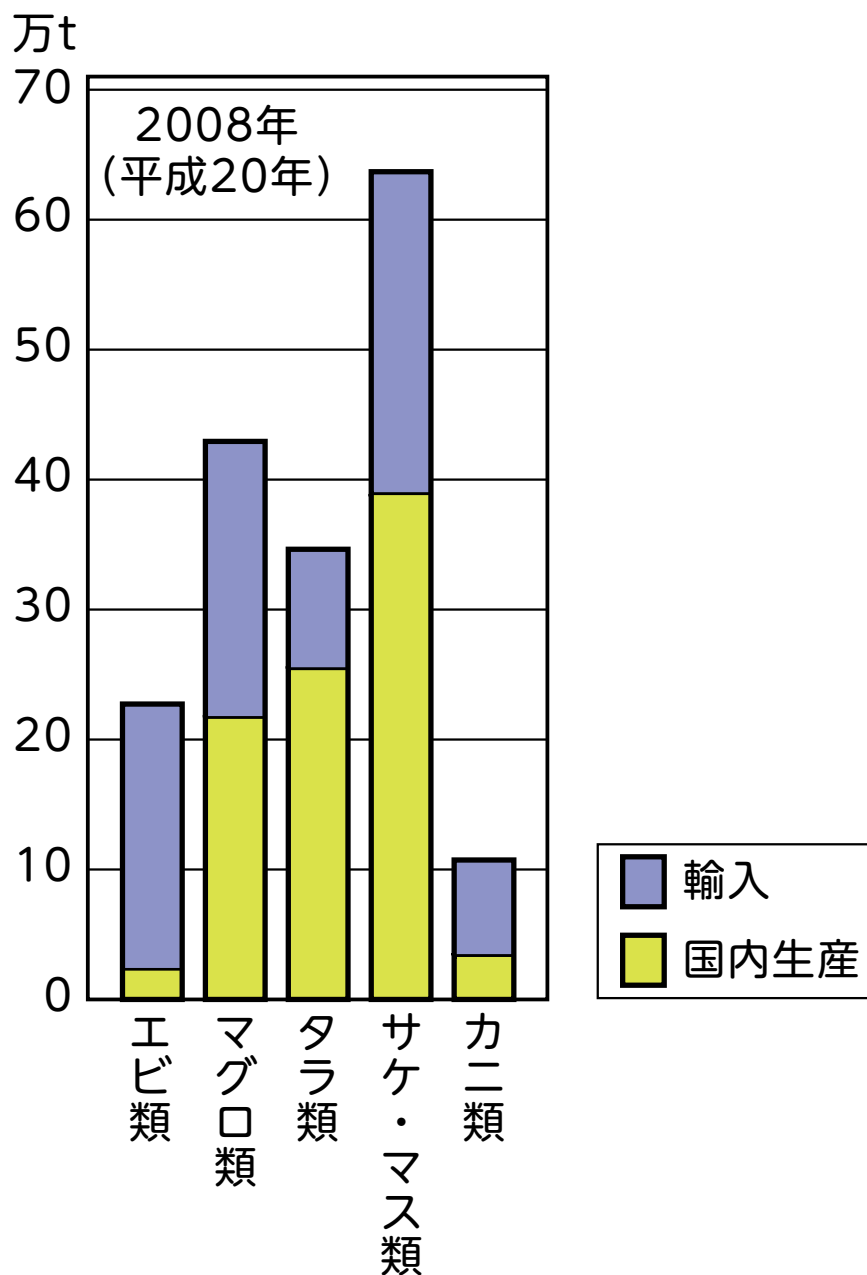
↓ → おもな魚介類の輸入相手国  
ぎょかいのい ゆにゆう  
(経済産業省資料より)



グラフにある外国の位置を、  
 地図帳で調べましょう。また、  
 2ページから4ページを見て、  
 その国がどの大陸にあるのか  
かくにん  
 も確認しましょう。



→ おもな魚介類ぎょかいるいの国内生産量と  
 輸入量ゆにゅうりょう  
 (農林水産省資料しりょうより)



35 - 4

外国からの水産物を輸入するばかり  
ではなく、日本で水産物を増<sup>ふ</sup>やすく  
ふうをしていないのだろうか。

